

## I 本校が目指す姿

## ① 学校の現状や課題

本校は、平成30年度に創立110周年を迎えた伝統校であると同時に、地域の拠点校であり、進学校である。平成29年度より、普通科4学級、商業科1学級の2学科5学級の募集となっている。毎年、約7割程度の生徒が国公立大学進学を希望し、その概ね半数が目標を達成する。また商業科においては、上級資格取得者・検定合格者率が概ね70%を超える。全体としては、卒業生の約9割が進学し、1割弱が就職している。伝統校・拠点校・進学校として、地元から、大きな期待をかけられていることを深く自覚し、その期待に応えていくことが責務であると認識している。また、「文武両道」を実践して部活動での成果もあげてきていることから、この良き伝統を守りつつも、更なる躍進を図ることも一つの責務である。

人材育成と進路実現を最も大きな課題として受け止め、その達成を目標として日々の教育活動の充実に取り組んでいる。

今後本校に大きな影響を与えるものとして、校舎の全面改築があるが、大きな飛躍の機会であるとともに、現在までの本校の歴史と伝統に加え、新しい魅力を地域住民や県民に対しアピールする機会と捉えている。

## ② 学校を取り巻く将来の状況の予測

激しく変化する社会経済情勢に対応することが求められている。中学校卒業生数の減少という問題では、本校でも学級減という形で影響が出ており、進路指導や部活動のあり方など、今後多方面に影響が出ることが予想される。また、中学校卒業生には、大仙地域から他地域へ進学する生徒もいる。その一方、本校卒業生の長年にわたる地元定着率の高さが効を奏し、若く優秀な人材の育成に対する地域の期待は依然として高い。県内の行政を担う分野にも人材を輩出している。

以上の状況を踏まえ、普通科・商業科とも社会の変化を踏まえた特色をより強く打ち出すとともに、多様化する本校生の進路希望に対応できる教育課程・教育活動の提供を図り、大仙地域を中心に、広く他地域の生徒も進学したいと思える魅力を発信する必要がある。

## ③ スクール・ポリシー

## (i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像）

「健・律・愛」の校訓のもと、心身を鍛え、自分を律し、主体的に考えて行動できる、個性豊かで思いやりのある社会人として、地域社会をリードし、グローバルな視点で地域の発展のために貢献できる有為な人材を育成する。

## (ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び）

キャリア教育の観点を基軸としながら、更なる学力向上、部活動及び特別活動の活性化等に取り組む、自己実現を目指す人材の育成を一層推進する。

また、新校舎においては、各教室・体育設備・図書館・ホールを始め、充実した教育環境を最大限活用し、生徒の学習活動を支援する。

- (1) 主体的・対話的な学びの時間 課題解決志向型学習
- (2) 授業や探究活動におけるICTの活用
- (3) キャリア教育
- (4) 文型・理型の類型制（普通科）
- (5) 高いレベルの資格取得・地域活性化のための活動（商業科）
- (6) 進路希望の達成を目指したコース制（商業科）

## (iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

- 1 主体的に学習し、進路希望の達成に励む生徒。
- 2 部活動等に参加し、心と体を鍛える生徒。
- 3 個性豊かで、思いやりのある社会人を目指す生徒。
- 4 社会の様々な課題に取り組もうとする、チャレンジ精神が旺盛な生徒。（普通科）  
商業や地域振興等に関心を持ち、チャレンジ精神が旺盛な生徒。（商業科）

## Ⅱ 5年間を通しての具体的な目標と取組

### ① 5年間を通しての具体的な目標

- 1 地域・学校に誇りをもち、充実した学校生活を送る自律した生徒を育成する。
- 2 社会規範を身に付け、礼儀をわきまえ、適切な言動ができる生徒を育成する。
- 3 自らの進路志望を達成しようと果敢に努力する生徒を育成する。  
普通科においては、国公立大学への進学志望達成率70%以上を目標とする。  
商業科においては、進学・就職希望者ともに、高い進路目標の達成を目指し、資格検定等については、上級資格取得者・検定合格者率80%以上を目標とする。
- 4 文武両道を実践し、全国大会で活躍する生徒を多数輩出する。

### ② 目標を達成するための具体的な方法、取組等について

- 1 地域・学校に誇りをもち、充実した学校生活を送る自律した生徒を育成する。
  - a 地域との交流
    - ・地域行事やボランティア活動等への積極的な参加を促し、地域社会に主体的に参画する態度を育む。
    - ・探究活動等において、地域人材や各地域・分野で活躍している卒業生を活用した学習の機会を設ける。
  - b 自立心と自律性の涵養
    - ・主体的、積極的に行動する場面を設定する。
    - ・自ら課題を発見し、進んで課題解決を図ろうとする態度を育成する。
- 2 社会規範を身に付け、礼儀をわきまえ、適切な言動ができる生徒を育成する。
  - a あいさつの励行等
    - ・校内外での元気なあいさつ、清々しい整容、美しい言葉遣いを奨励する。
    - ・登下校時のマナーの向上を図る。
  - b 規範意識の醸成及び生き方指導の充実
    - ・他者を尊重する態度、公共の場面での節度ある振る舞い、地域に生きる人間としての自覚、高い情報モラルを育成する。
    - ・進路指導・生徒指導等の講演会を活用し、生き方指導を充実させる。
- 3 自らの進路志望を達成しようと果敢に努力する生徒を育成する。  
普通科においては、国公立大学への進学志望達成率70%以上を目標とする。  
商業科においては、進学・就職希望者ともに、高い進路目標の達成を目指し、資格検定等については、上級資格取得者・検定合格者率80%以上を目標とする。
  - a 教科における授業改善の取組
    - ・主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る。
    - ・研究協議会への参加及び職員の研修を充実させる。
    - ・ICT機器の活用について、研修の充実を図る。
    - ・生徒による授業評価を実施する。
  - b 生徒理解と学力支援
    - ・面談や面接を計画的かつ継続的に行い、一人一人にきめ細やかに対応する。
    - ・進路に応じた補習や添削を実施し、生徒の学力向上を図る。
  - c 中高接続と学年間連携
    - ・中学校との連携及び入学後のガイダンスやオリエンテーションを充実させる。
    - ・学年間の連携を密にし、より効果のある指導のノウハウを共有する。
  - d キャリア教育
    - ・インターンシップ・ボランティア活動（2年生全員）への積極的な参加を促す。
    - ・総合的な探究の時間及びLHRを活用するとともに、社会人や卒業生による講話、大学と連携した講座を充実させ、将来のキャリアについて考えさせる。
- 4 文武両道を実践し、全国大会で活躍する生徒を多数輩出する。
  - a 部活動指導
    - ・人間教育に根ざした部活動指導を推進する。
    - ・指導者研修会等への積極的な参加を通じた、効果的・効率的な指導を図る。
    - ・専門的に技術指導を行う外部指導者との連携を充実させる。
  - b 家庭学習時間の確保
    - ・最終下校時刻（午後7時）を遵守するとともに、部活動休養日を設定する。
  - c 部活動の精選
    - ・生徒数の減少に応じて、部活動の精選と集中化を図る。